

(有) 北関東観光 平成29年度輸送安全マネジメント

●輸送の安全に関する基本的な方針

私たち、北関東観光バスの総意としてお客様に安全で快適な輸送サービスをご提供するため、輸送の安全性の確保を最上の目的とし、全社員一丸となって全力で取り組みます。

- ①私たちは、安心、快適をモットーに、お客様に安全第一をお約束するバス会社であり続けることを目指します。
- ②私たちは、輸送の安全に関する法令の遵守を基本に、日々安全運行の確保のため環境を整えるよう努力します。
- ③私たちはいつでも安全運行の基本に立ち返り毎日の業務にあたります。

●目 標

- ①お客様に利用、選定される安全な貸切バスを構築します。
- ②信頼される運行管理体制を構築します。
- ③運転者の労働時間等の改善基準告示を遵守します。
- ④重大事故0を目指します。
- ⑤乗務員一人一人が1年間、後退時の事故0を目指します。
- ⑥総事故件数前年度半減を目指します。
- ⑦飲酒運転の根絶、法定速度の遵守等コンプライアンスを徹底します。
- ⑧アイドリングストップとエコドライブを推進します。

●輸送の安全に対する教育・研修計画

- ①配車地、運行地、山間地等それぞれの運行経験の体験談を議事に上げ安全運行の啓発活動の一環としてミニディスカッションを月一のペースで実施。
- ②雪道運行未経験乗務員を対象に統計資料等に基づいた研修、また実地試走等の個別研修の実施。
- ③新人乗務員に対するの教育を計画的に行う。
- ④事故惹起者に対する再発防止の為の指導、原因等の検証を定期ミーティングにおいて実施、双方向で論じる。
- ⑤安全運転のための研修および危機管理(バスジャック、テロ、重大事故等)に対応した訓練の実施。
- ⑥輸送安全マネジメントについて社員全員の意識向上を図る。
- ⑦運行管理者と乗務員とで安全管理規定に基づく対話会議(討論会)の実施。

●輸送の安全運行のための乗務員に対するの指導事項

- ①プロドライバーの心得を基に当社の安全運行に対する心構えを形成する。
- ②毎日の点呼時において配車地、運行地等において状況にあった情報伝達(気象交通、体調管理、取扱業者(お客様))を適確に行い事前の運行体制を敷く。
- ③様々な想定外、事故が起きないように点呼時のアルコールチェック、日常点検は出庫、入庫、出張先で確実にを行うよう徹底する。
- ④定期的な個別面談において安全運転の励行、適性診断の結果を基に運行における心構え、各車輛の操作、運行経路等の組み立てなど基本にたった安全意識の向上を図る。

●健康に起因する事故の発生防止

- ①健康診断の定期的受診により、全社員の健康保持に努める。
- ②健康診断の結果を基に個別面談を行い、事業用自動車の乗務員としての健康管理の認識、体質の把握の向上を図る。
- ③生活習慣病、睡眠時無呼吸症候群等の実態の把握とその各症状の認知を確認する達示文の発行またはミーティングにおける議題の策定。

●輸送の安全のための情報の共有化の措置

- ①社長、各営業所所長、統括運行管理者、整備管理者をメンバーとした安全会議の実施。
- ②全営業所所長、運行管理者、整備管理者の意見を交え乗務員に対し共有できる安全運行についての達示文の発行や周知徹底。
- ③北関東観光バスの輸送の安全に関する取り組み状況をホームページ等において公表する。

●内部監査について

- ①社長(安全統括管理者)は、監査責任者を選任し、半年に一度安全マネジメント実施状況点検のための監査を実施する。但し重大事故、災害等が発生した場合、また同種の事故、災害等が繰り返し発生した場合、その他、特に必要と認められる場合には、緊急に輸送の安全への取り組み状況を監査する。
- ②社長は、内部監査により、改善が必要な事項が認められた場合には、輸送の安全確保のために必要な方策を検討し、当面必要となる緊急の是正措置又は予防措置を講じる。
- ③社長及び、安全統括管理者からの聞き取り後、輸送の安全に関する取り組みについての進捗状況・問題点を報告書にまとめ改善措置を講じる。